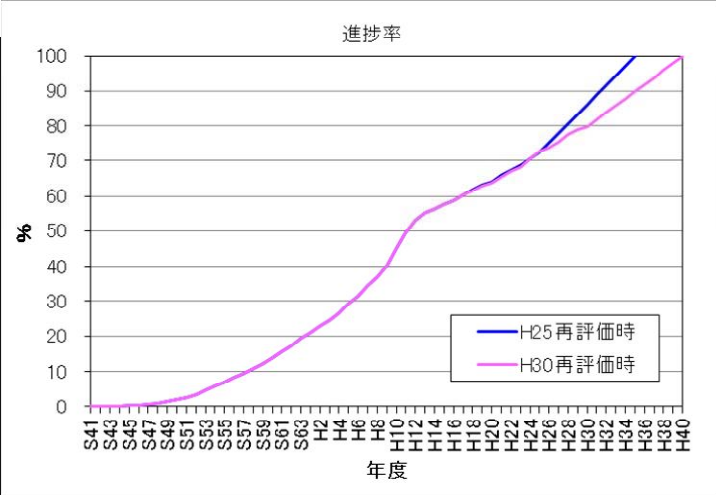


平成30年度再評価対象事業
(対象：平成25年度再評価実施事業)

(再評価実施後、一定期間(5年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	CO2削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課)
再評価 時点 H25	田手川 (田手川・三本松川・馬場川) 河川整備交付金事業(広域河川改修事業)	流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、流域の浸水被害の軽減及び排水機場建設により内水対策を図る。 (田手川) 計画流量 490m ³ /s 計画治水安全度 1/50	全体事業費：C=307億円 工期：S41～H35 改修延長：L=16,350m 事業内容：掘削・築堤護岸、排水機場2箇所 樋管7基、橋梁43基、堰19基	田手川については、田手村橋下流は完成している。 三本松川については、国道385号下流において用地買収は完了しており、また改修についても概成している。 馬場川については、狭窄部の構造物3基や上流工区を残すのみとなっている。また、用地補償についてはほぼ完了している。 橋梁32橋が完成。 (H24末進捗率70%) (年平均進捗率1.5%)	(過去の災害実績) H2.7 浸水戸数 487戸 浸水面積 3,390ha 内水被害が頻発し、国道385号が通行止めになる等、被害が発生している。 (地域の状況) 流域内にて、宅地開発が行われ、市街化が進んでいる。	最新のマニュアルに基づき、費用対効果(B/C)を算出した。 (B/C) = 5.1	再生材の積極的利用 建設副産物の有効利用 堰改築について、地元調整の上、統廃合を実施。	再評価実施後5年経過	継続	
現時点 H30	田手川 (田手川・三本松川・馬場川) 河川整備交付金事業(広域河川改修事業)	流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、流域の浸水被害の軽減及び排水機場建設により内水対策を図る。 (田手川) 計画流量 490m ³ /s 計画治水安全度 1/50	全体事業費：C=310億円 工期：S41～H45 改修延長：L=16,350m 事業内容：掘削・築堤護岸、排水機場2箇所 樋管9基、橋梁43基、堰17基	田手川については、田手村橋下流は完成しており、そこから上流の河原橋までは1/10での治水安全度の暫定整備が完成している。 三本松川については、国道385号下流まで完成している。 馬場川については、野目ヶ里橋下流まで完成している。 橋梁35橋が完成。 (H29末進捗率78%) (年平均進捗率1.5%)	(過去の災害実績) 同上 (地域の状況) 特になし	最新のマニュアルに基づき、費用対効果(B/C)を算出した。 (B/C) = 5.8	同上	再評価実施後5年経過	昭和28年、平成2年等の洪水被害を軽減するため、流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、地域住民の安全を確保するためには、当事業の継続が適当である。	
理由等			施工に伴い国道385号の迂回路が必要となったことによる事業費の増用地交渉に期間を要したこと、また今後も要することによる工期の延長		前回再評価時と比較し、家屋評価単価の増加によりBが増大し、費用対効果(B/C)の増となった。					